

令和元年度 学校生活相談センターの相談状況について(12月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 H30年度(～12月末)	→	本年度 R1年度(～12月末)	
相談件数	607件	→	665件	(58件増)
延べ回数	1018回	→	1257回	(239回増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	250	37.6%	392	31.2%
	夜間・休日	317	47.7%	674	53.6%
文書 (メール・FAX・手紙)	92	13.8%	181	14.4%	
来所	6	0.9%	10	0.8%	
計	665	100.0%	1257	100.0%	

・前年度同期と比較すると、相談件数が9.6%増、延べ回数が23.5%増となり、4月以降引き続き増加傾向にある。

・特に、夜間・休日受付の相談件数が増えており、前年度同期の延べ回数は455回だったが、本年度は674回と48.1%増となっている。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	49	7.4%	67	5.3%
傾聴を主とした案件	616	92.6%	1190	94.7%
計	665	100.0%	1257	100.0%

主な連携先

小中学校	… 20件	私学振興課	… 1件
県立高校	… 15件	こども・家庭課	… 0件
県教育委員会他課	… 7件	児童相談所	… 0件
教育事務所	… 3件	子ども支援センター	… 0件
市町村教育委員会	… 3件		

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	77	11.6%	111	8.8%
5月	89	13.4%	144	11.5%
6月	74	11.1%	148	11.8%
7月	70	10.5%	141	11.2%
8月	61	9.2%	130	10.3%
9月	84	12.6%	142	11.3%
10月	92	13.8%	175	13.9%
11月	59	8.9%	146	11.6%
12月	59	8.9%	120	9.6%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	665	100.0%	1257	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	87	13.1%	108	8.6%
	不登校・登校渋り	73	11.0%	122	9.7%
	その他	152	22.8%	267	21.2%
学校・教師に関すること	195	29.3%	337	26.8%	
家庭・私生活に関すること	60	9.0%	158	12.6%	
意見・問い合わせ	71	10.7%	88	7.0%	
その他	27	4.1%	177	14.1%	
計	665	100.0%	1257	100.0%	

(2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	24	11.1%	28	5.4%
	不登校・登校渋り	11	5.1%	21	4.0%
	その他	88	40.5%	168	32.4%
学校・教師に関すること	46	21.2%	107	20.6%	
家庭・私生活に関すること	16	7.4%	19	3.7%	
意見・問い合わせ	14	6.4%	20	3.8%	
その他	18	8.3%	156	30.1%	
計	217	100.0%	519	100.0%	

(3) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	217	32.6%	519	41.3%
本人	214	32.2%	516	41.1%
本人以外の子ども	3	0.4%	3	0.2%
大人	434	65.3%	722	57.4%
父	57	8.6%	76	6.0%
母	313	47.1%	542	43.1%
祖父	3	0.4%	4	0.3%
祖母	13	2.0%	20	1.6%
その他の大人	48	7.2%	80	6.4%
不明	14	2.1%	16	1.3%
計	665	100.0%	1257	100.0%

・相談者の内訳を見ると、大人からの相談が6割を超えている。ただし、延べ回数を見ると、子どもからの相談の割合が増えており、子どもからの相談の方が継続となる場合が多いことが窺える。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	278	41.8%	588	46.8%
女	307	46.2%	542	43.1%
不明	80	12.0%	127	10.1%
計	665	100.0%	1257	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	4	0.6%	4	0.3%
小学生(低学年)	72	10.8%	88	7.0%
小学生(高学年)	90	13.5%	121	9.6%
中学生	169	25.4%	283	22.5%
高校生	264	39.7%	515	41.0%
その他	27	4.1%	82	6.5%
不明	39	5.9%	164	13.1%
計	665	100.0%	1257	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	151	22.7%	382	30.4%
東信	66	9.9%	184	14.6%
中信	65	9.8%	109	8.7%
南信	72	10.8%	176	14.0%
その他	6	0.9%	6	0.5%
不明	305	45.9%	400	31.8%
計	665	100.0%	1257	100.0%

- ・相談対象者を見ると、女子の相談件数が男子より若干多いが、延べ回数を見ると男子の方が多くなる傾向が見られる。
- ・相談者の学校区分では、前年度同期と比べて高校生の割合が若干増加傾向にある。

12月まとめ

- ・4月から延べ回数が3桁となる月が続いている。特に、延べ回数は前年度の2月末(1,234回)を超えている。
- ・何かと不安感の高まりがちな年末ということで、秋に相談のあったリピーターからの相談が改めてあったり、希死念慮を窺わせるような相談もいくつかあったりした。また新規の相談者が数日にわたり立て続けに相談に訪れたりする様子も見られた。
- ・生徒や保護者が担任教諭や教科担任、部活動顧問への不満を訴える相談も目立った。中には生徒が撮った証拠写真を添付する相談もあった。